

事業報告

〔自 平成 31 年 4 月 1 日〕
〔至 令和 2 年 3 月 31 日〕

1. 法人の状況に関する重要な事項

(1) 事業の経過及び成果

当法人は、大洲の歴史、文化、自然などの地域資源を保全しながら、民間事業者等との協働により、新たな価値をつくり、観光まちづくり等に生かすことで、地域に産業を根付かせ、地域経済の発展に寄与することを目的としています。愛媛県内初の地域DMO（DMO：Destination Management Organization 観光地域経営組織）として平成30年7月2日に設立されました。

設立2年目である当期は、会員勧誘・管理事業、観光まちづくり事業及び指定管理事業等を行いました。

具体的には、大洲市観光まちづくり戦略会議が策定した「観光まちづくり戦略ビジョン（素案）」に沿った事業運営を進めてまいりました。観光まちづくり事業においては、大洲城を活用した日本初のキャッスルステイ事業の実証実験の実施、内子町観光協会・せとうちDMOなどとのDMO連携、子会社である株式会社K I T Aによる肱南地区の町家・古民家等の保全活用事業などを進めました。また、大洲市観光まちづくり戦略会議から受託を受け、インバウンドFAMツアーの受入やインバウンドガイドの養成を行いました。さらに、当法人運営の観光案内所において大洲市では初となる日本政府観光局（以下、JNTO）が定める認定外国人観光案内所カテゴリーを取得することで、インバウンド観光客の受入態勢を整えました。ふるさと納税に関しては、魅力ある商品開発・発信を行い、寄附金増額に寄与しました。指定管理事業については、大洲まちの駅あさもや及びおおず赤煉瓦館は前運営者からの雇用継続、事業承継を着実にを行い、新設の伊予大洲駅観光案内所では、公共交通を利用した来訪者の玄関口として、案内機能を果たしました。

当期の業績は、経常収益 157,607 千円、経常費用 156,871 千円を計上した結果、当期経常増減額は 736 千円（前期比 3,975 千円の増加）となりました。また、経常外収益 3,111 千円、経常外費用 1,494 千円を計上した結果、当期一般正味財産増減額は 2,271 千円（前期比 4,205 千円の増加）となりました。

次期においては、前半は、新型コロナウイルスへの対応が主となるものの、民間事業者が運営する分散型ホテル「NIPPONIA HOTEL 大洲城下町」の開業と合わせ、反転攻勢に向けた観光商品の造成・磨き上げを行うこととしています。あわせて、従来の指定管理施設の運営に加え、令和

2年度から受託した大洲城・臥龍山荘の指定管理事業及び旧加藤家住宅整備事業を実施し、さらに魅力ある観光まちづくりを推進してまいります。

部門別の概況

A. 会員勧誘・管理事業 (単位：千円)

科目	金額
受取入金収益	360
受取会費収益	785

法人設立の挨拶とともに市内に限らず市外にも広く募集案内を行うとともに、大洲市と共催した観光まちづくりシンポジウムの実施、管理施設によるマーケティングリサーチの実施等を行い、マーケティング情報の蓄積を図りました。

次期では、会員勧誘やまちづくりセミナー等の開催による趣旨賛同者の増加及び会員特典の充実（マーケティング情報の公開等）を図ってまいります。

B. 観光まちづくり事業

(a) 観光事業 (単位：千円)

科目	金額
経常収益	21,846
観光事業収入	10,465
観光手配収入	6,139
観光案内収入	1,557
受託事業収入	3,684
経常費用	23,935
事業費	23,490
管理費	445
経常外収益	339
経常外費用	-
税引前当期一般正味財産増減額	△1,750

観光うかいや肱川遊覧の実施、旅行ツアー等の受入を行いました。また、既存の旅行会社及び関係団体との契約関係の見直しを行い、採算改善を図りました。しかしながら、現状は観光事業の運営にかかる人件費をカバーできていない状況であり、引き続き単価の低いバスツアー誘致から単価の高い個人顧客への転換を図っていくとともに良質な観光商品の造成を図ってまいります。

なお、体験を絡めた観光商品は、宿泊等の需要を喚起する上で重要であり、今後は、町家・古民家等の活用事業と合わせた観光商品の造成を進めてまいります。

(b) ふるさと納税事業 (単位：千円)

科目	金額
経常収益	35,722
業務受託収益	11,146
業務収益	24,575
経常費用	36,212
事業費	36,212
管理費	-
税引前当期一般正味財産増減額	△491

令和元年度目標寄附額 50,000 千円に対して、寄附額 71,203 千円（目標比 142%、前期比 122%）となりました。

市内事業者と積極的にコミュニケーションを形成したことで商品開発がスムーズに進み、商品バリエーションが大幅に増えたこと（前年度末比 101 件、200%増加）及び生産者や商品の魅力・ストーリーを丁寧に伝えるようカタログの刷新を行ったことが、地域や商品の理解度・知名度向上と寄付額の増加に繋がりました。

次期は、ポータルサイト追加、事務の内製化及び手数料見直しを行ってまいります。

(c) その他事業 (単位：千円)

科目	金額
経常収益	15,765
受託事業収益	11,061
その他事業収入	4,703
経常費用	11,664
事業費	11,532
管理費	132
経常外収益	88
経常外費用	-
税引前当期一般正味財産増減額	4,188

大洲市観光まちづくり戦略会議からの受託事業として、大洲城を活用した日本初のキャスルテイ事業の実証実験の実施及び実施計画の作成、ブランディング・プロモーション計画の作成、せとうちDMO主催のFAMツアーの受入、おおず歴史華回廊のインバウンド講座及び案内人養成講座（初級編・中級編）を実施しました。

そのほか、大洲市から歴史探訪館施設管理業、思ひ出倉庫管理業務を受託するとともに、株式会社KITAのファイナンス計画のコンサルティング、観光パンフレット作成業務等を受託しました。

C. 指定管理事業

(単位：千円)

施設名	まちの駅 あさもや	おおず 赤煉瓦館	伊予大洲駅 観光案内所	総係費 (共通費)
来場者数 (平成 31 年度)	106,986 人	43,262 人	-	-
来場者数 (令和元年度)	106,217 人	48,919 人	11,466 人	-
増減	▲769 人	+5,657 人	+11,466 人	-
経常収益	57,715	13,588	11,825	-
指定管理受託料収入	16,771	6,940	7,887	-
物販収入	39,513	5,070	3,167	-
その他収入	1,430	1,576	770	-
経常費用	45,649	13,215	8,188	17,880
事業費	44,777	13,122	8,121	325
管理費	871	92	67	17,555
経常外収益	-	-	-	2,685
経常外費用	1,404	-	-	90
税引前当期一般正味財産増減額	10,662	373	3,636	△15,285

大洲まちの駅あさもや及びおおず赤煉瓦館では、旧運営者の事業承継を着実に進めるとともに店内レイアウトの刷新、商品ラインナップの見直しを行いました。その結果、大洲まちの駅あさもやの来場者数は 106,217 人（前期比 99.2%）、赤煉瓦館の来場者数は 48,919 人（前期比 113.0%）となりました。

総係費（共通費）を考慮すると税引前当期一般正味財産増減額は△614 千円となりました。

次期は、物販収入の強化を図るべく、店舗コンセプトを明確化するとともに店内レイアウトの見直し、陳列方法及び商品ラインナップのブラッシュアップを図ってまいります。

また、あさもや内の大洲観光総合案内所については、日本政府観光局（以下、JNTO）が定める認定外国人観光案内所カテゴリー 1 を取得しました。伊予大洲駅観光案内所では、認定外国人観光案内所カテゴリー 2 を取得しました。

カテゴリー	条件・内容
3	常時英語による対応が可能。その上で英語を除く 2 以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。Wi-Fi あり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。
2	少なくとも英語対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供。
1	常駐でなくとも何らかの方法で英語対応可能。地域の案内を提供。

資金調達等についての状況（重要なものに限る。）

A. 資金調達

金融機関から運転資金借入を行っております。

B. 設備投資

当事業年度中において実施いたしました設備投資の総額は 6,847 千円で、その主なものは次のとおりであります。

- ・ 写真データ 1,331 千円
- ・ POSレジ4台 1,273 千円
- ・ ハイゼットトラックキッチンカー 2,510 千円

また、当事業年度中に実施いたしました重要な固定資産の売却、撤去、滅失はありません。

(3) 財産及び損益の概況

(単位：千円)

区分	第1期	第2期
開始正味財産	-	8,067
基金	10,000	10,000
経常収益計	223	157,608
受取入金収益	-	360
受取会費収益	-	785
事業収益	223	156,463
経常費用計	3,462	156,872
事業費	1,478	137,580
管理費	1,984	19,290
当期経常増減額	△3,239	736
経常外収入	1,360	3,111
経常外費用	-	1,494
税引前当期一般正味財産増減額	△1,879	2,353
当期一般正味財産増減額	△1,933	2,271
一般正味財産期末残高	△1,933	338
正味財産	8,067	20,338

(4) 会員数に関する事項

(単位：千円)

種類	第1期末	第2期末	増減
正会員	6	12	6
賛助会員	0	0	0

(5) 理事及び監事に関する事項（令和2年3月末時点）

役名	氏名	就任年月日	区分	備考
代表理事	二宮 隆久	平成30年8月9日	非常勤	大洲市 市長
理事	松田 眞	平成30年8月9日	非常勤	大洲市 副市長
理事	城戸 猪喜夫	平成30年8月9日	非常勤	大洲市商工会議所 会頭
理事	藤岡 周二	平成30年8月9日	非常勤	大洲市観光協会 会長
理事	神田 孝一	平成30年8月9日	非常勤	大洲市古民家再生推進協議会 会長
監事	武田 康秀	平成30年8月9日	非常勤	大洲市産業経済部 部長

(6) 職員に関する事項（令和2年3月末時点）（単位：名）

区分	第1期末	第2期末	増減	備考
正職員	5	14	9	プロパー9、大洲市役所兼務2、出向者2、地域おこし協力隊1
臨時職員	3	20	17	華回廊スタッフ6含む
合計	8	34	26	

(7) 重要な親会社及び子会社の状況

A. 親会社の状況

該当ありません。

B. 子会社の状況

観光不動産開発を行う株式会社K I T Aの株式40%を保有しています。当法人は、役員を派遣するとともに、経営指導等を行っています。

(8) 主要な借入先及び借入額

借入先金融機関名	借入金額	借入理由
株式会社伊予銀行	3,975千円	運転資金

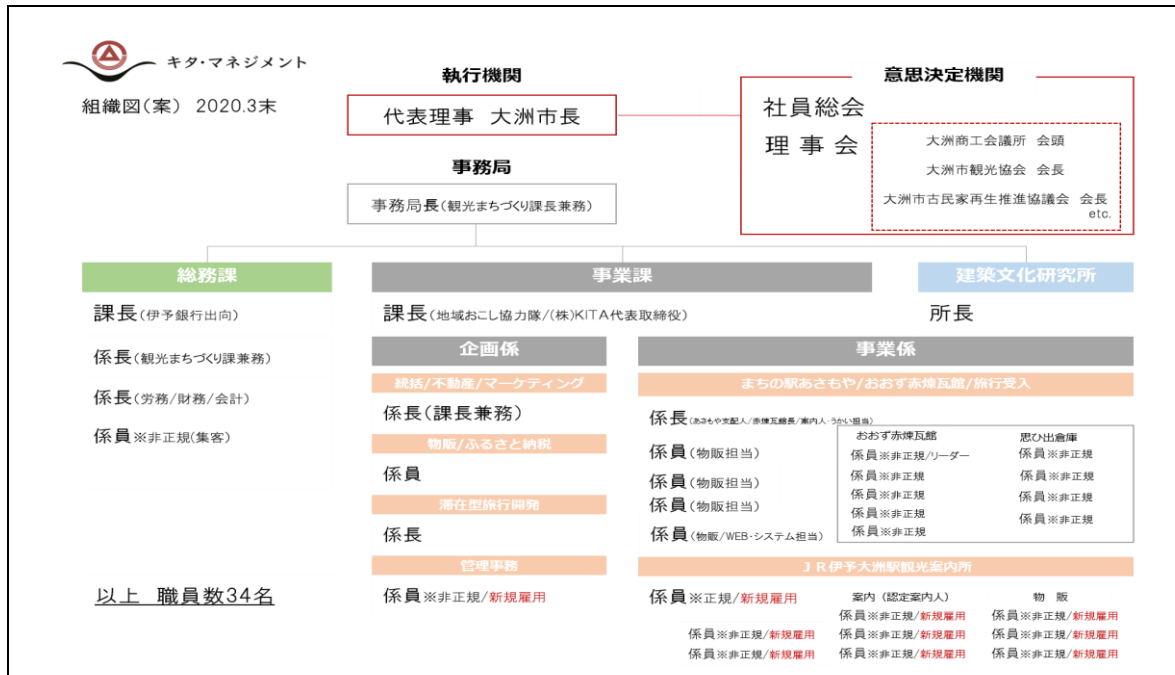
(9) 前各号に掲げるもののほか、当法人の状況に関する重要な事項

該当事項はありません。

2. 業務の適正を確保するための体制の整備に関する事項

(1) 経営体制

A. 令和2年3月末時点の組織図は以下のとおりです。



(2) 業務体制

A. 規程・規則を新設及び改定

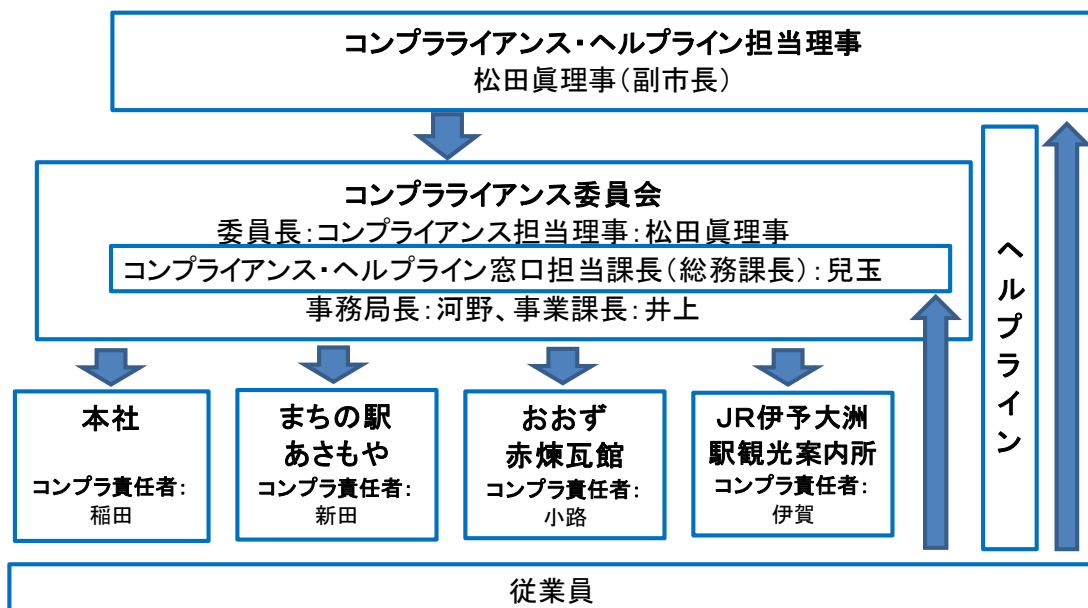
以下のとおり、各理事会において規程・規則を新設及び改定を行いました。

令和元年7月8日付 第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> 受託事業実施規程の新設 謝金規程の新設
令和元年12月24日付 第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> 経理規程の改定 視察受入規程の新設 賞与規程の新設
令和2年3月26日付 第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"> 給与規程の改定 就業規則及び準職員就業規則の改定

B. コンプライアンス及びヘルプライン体制

コンプライアンス及びヘルプライン体制図は以下のとおりです。

【体制図】



【コンプライアンス体制】

○コンプライアンス担当理事

- ・定期的に理事会に対し、当法人のコンプライアンス状況について報告します。
- ・コンプライアンスに関する各種施策を立案し、実施する責務があります。

○コンプライアンス委員会

- ・コンプライアンス担当理事の諮問機関
- ・委員長は必要があると認められるときに召集可能です。
- ・コンプライアンス施策の検討と実施します。
- ・モニタリング、違反事件についての分析・検討します。

○コンプライアンス責任者

- ・役職員に対してコンプライアンス勉強会を実施(月1回)します。

【ヘルプライン体制】

○ヘルプライン担当理事

- ・従業員からの意見・不満を直接受け付けます。
- ・対応を指示します。

○ヘルプライン担当課長

- ・従業員からの意見・不満を直接受け付けます。
- ・対応を指示します。

以上